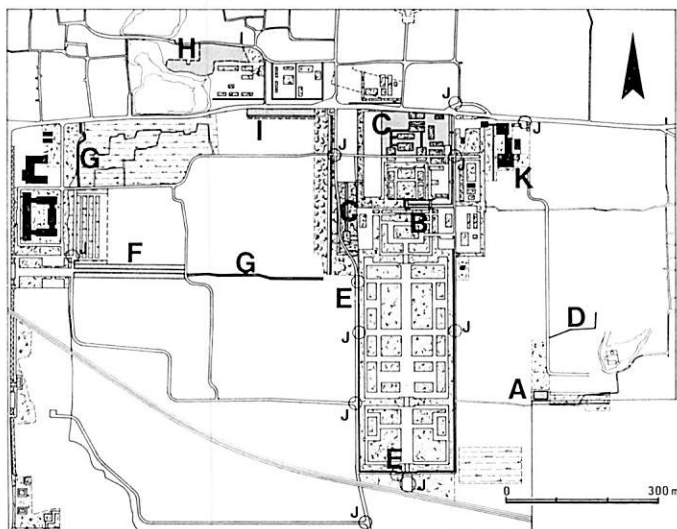


平城宮跡の整備(8)

平城宮跡発掘調査部

1977年度の宮跡整備は、東院南門基壇復原整備、第2次内裏内郭築地回廊基壇復原整備、灌水施設、水路改修、宮内道路造成、苑路整備、内裏整備、柵工事および浄化槽改修工事を行なった。

東院南門基壇復原整備 第39次発掘調査で確認された東院南門(S B5000)の基壇復原を行なった。この門から東へ約100mについては、1974年度に築地、堀地および外濠を復原表示している。また門より北に延びる宮内道路も約90mについて整備済みである。



第1図 平城宮跡整備図

第39次発掘調査では、東半部の一部に基壇盛土と礎石の据え付け痕跡を検出しているが、削平が著しく平面規模を確定する要素は少なかった。そこでこの門が、既に発掘調査で確認されている西面の中門や南門とほぼ同規模のものと考え、西面門は桁行5間、17尺等間であるのに対し、東院南門では西側の迂回溝(S D5100)の位置から、東西両端1間分の柱間を15尺に縮めていたものと考えた。なお梁行柱間は前述の2門と同様15尺等間として不都合はなかった。以上のことから東院南門基壇は、東西26.91m、南北13.58mの5間3戸の規模を持つ凝灰岩壇上積基壇(高さ1.2m)とし、南北両側の中央3間分に段階(踏面幅30cm、蹴上げ高24cm)を設けた。基壇上面は中央3間分を凝灰岩切石敷で階段と接続し、他はコンクリート叩き仕上げとし、壁部分に地覆石を、扉口に唐居敷・蹴放しを表示した。また発掘調査で検出した2箇の礎石を引上げて再利用し、残り16箇については再利用した2箇を原型とした礎石を製作し補充した。

門基壇西側に迂回する溝については、門の南で東に折れ東一坊大路西側溝に接続するが、未買収地であるため、門の西側23.5mを復原表示するとどめた(第1図A、第2図)。

第2次内裏内郭築地回廊基壇復原整備 1974年から始めた内郭築地回廊基壇復原は、1976年度までに東楼基壇を含む東辺部について整備を完了している。今年度は第12次、73次発掘調査で確認されている築地回廊を東楼西端から西方へ15間分(約60m)について延長した(第1図B)。

復原は昨年までと同じ工法とし、回廊南面は凝灰岩の壇上積基壇(高さ1.23m)北面は凝灰岩切石の両落溝を表示した。基壇上面は幅員11.5mとし、基壇中央に通る築地はプレキャスト版(高さ60cm)を立てた。施工区東西2ヶ所の門跡(S B3700、S B7950)は、基壇上面を凝灰岩切石

敷とした。なお中央門(閤門)の北側回廊部は、門の両側1間分まで遺構にならない敷石で平面表示すると共に、プレキャスト版の高さを75cmとし、3間幅の門規模の立面表示を行なった。

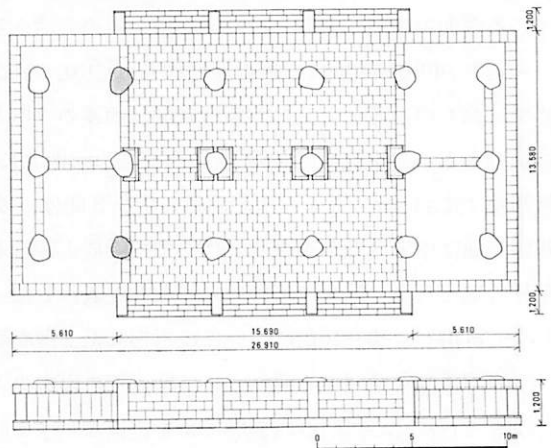
灌水施設 昨年度までに内裏南部、大極殿・朝堂院および朝集殿地区について、自動散水装置の設置を終えている。今年度は内裏北部と西方外郭地区にスプリンクラー49基を増設した。これにより第2次内裏朝堂院地区の灌水施設整備は一応完了したことになる。なお散水作動表示板を管理棟に設置し、散水操作管理の便宜を計った(第1図C)。

水路改修 法華寺町から宮内に流入する水路の流量の増加に伴ない、堤の崩壊箇所が多くなって来ていた。そこでコンクリートU形ブロック(φ600mm)を用い、護岸工事を約125mについて実施した(第1図D)。その他、第2次朝堂院外周の大正時代に整備された水路護岸の王石積が2箇所(西側9m, 南側3m)で崩壊したためこれを改修した(第1図E)。

宮内道路 宮城西面中門(佐伯門)から昨年度施行した宮内道路を、今年度は東へ約230m延長した(第1図F)。この整備にあたり、第106次の発掘調査(昨年度施工端より東方100m付近約740㎡)を実施した結果、この地点では西面中門の中心線上に水路(S D8820)が存在し、その南側は築地状の地山の高まりが平行していた。そこで今年度は、道路幅員を門中心線より北側8mに狭め、その両側に側溝を復原表示した。側溝の外側は幅10mについて盛土張芝を施し、1本/40㎡程度の樹木植栽を行なった。また、この宮内道路の東端から第2次内裏朝堂院地区への歩道整備として、幅員2mの砂利舗装の苑路を約290m造成し、緑陰帯の苑路と接続したほか、資料館東北部で約130mの苑路を造成し、資料館外周の歩道を整備した(第1図G)。

その他 内裏整備は佐紀池の北東部4490㎡と第1次内裏地区の県道沿い2870㎡の2ヶ所について、盛土整地し1本/100㎡程度の植栽を行なった(第1図H、I)。また施設管理上の要請から、県市道と宮内仮設道路との接続部10ヶ所に車止め柵を設置(第1図J)したほか覆屋地区に設けていた便所の浄化槽を100人槽に改修しその浄化能力の向上を計った(第1図K)。

(渡辺 康史)



第2図 東院南門基壇

	東院南門	内裏回廊跡	灌水施設	水路改修	内裏整備	宮内道路	柵工事	苑路整備	浄化槽改修
	㎡	㎡	基	m	㎡	m	箇所	m	箇所
規模	1,500	1,730	49	137	7,360	226	10	412	1
(千円)									
工費	27,016	26,855	8,500	1,535	35,025	21,615	2,149	1,955	3,941